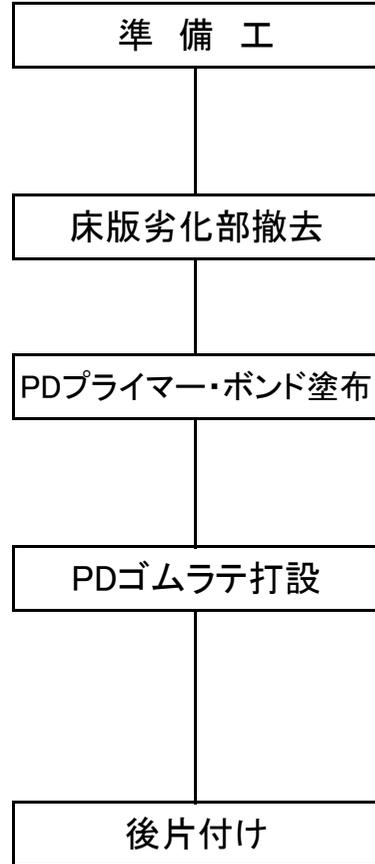


## PD工法 作業手順



内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認  チェックリストの作成
舗装版撤去後、床版上面の劣化部を撤去する。 研り面に残ったガラ、塵等を除去する。 浮石や脆弱部があれば除去する。	車線側には、必ず飛散防止ネットを設置する。 ブレーカーに飛散防止ガード・ホースの外れ止めを取り付ける。 作業に合った保護具を使用する。
主剤に硬化剤を投入し、材料が均一になるまで混合攪拌する。 プライマー攪拌後、ローラー、刷毛等で塗布を行う。 プライマー塗布後、5分以上静置してからボンドをプライマー同様の 手順で攪拌を行ないローラー、刷毛等で塗布を行う。	プライマー・ボンドの攪拌は、2分間以上行う。 PDプライマー1kgセットあたり2m <sup>2</sup> の使用量 PDボンド1kgセットあたり1.25m <sup>2</sup> の使用量 作業に合った保護具を使用する。
混和液に必要な応じて遅延剤を投入し攪拌する。 ミキサーで攪拌しながらパウダーを投入し練り混ぜる。 練りあがったモルタルを打設し混和液で塗膜養生を行う。 養生完了後、舗設を行う。	遅延剤は冬0~1杯、春・秋2杯、夏3杯程度投入し10秒程度 攪拌する。 パウダー投入後、90~120秒間練り混ぜる。 モルタル表面の急激な乾燥を抑制するために、混和液の 5倍液を散布する。 作業に合った保護具を使用する。
使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。  終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。  安全ミーティング日報による

## 注意事項

作業に合った保護具の使用を行う。  
 一般車への飛散防止は確実にを行う。  
 攪拌時間・養生時間等、確実に計測を行う。  
 材料の攪拌については、硬化不良が起きないように、十分、むらなく攪拌する。  
 材料の攪拌場所は、路面が汚れない様にシート等で養生をしてから作業をする。  
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。